

2025年5月8日

各位

会社名 株式会社フレクト
 代表者名 代表取締役CEO 黒川 幸治
 (コード番号: 4414 東証グロース)
 問い合わせ先 執行役員ファイナンス 河田 紘史
 & アカウンティング本部長CFO
 TEL. 03-5159-2090

2025年3月期決算 高い関心が想定される事項

2025年3月期決算について、投資家の皆様の高い関心が想定される事項を、以下のとおり記載いたしました。

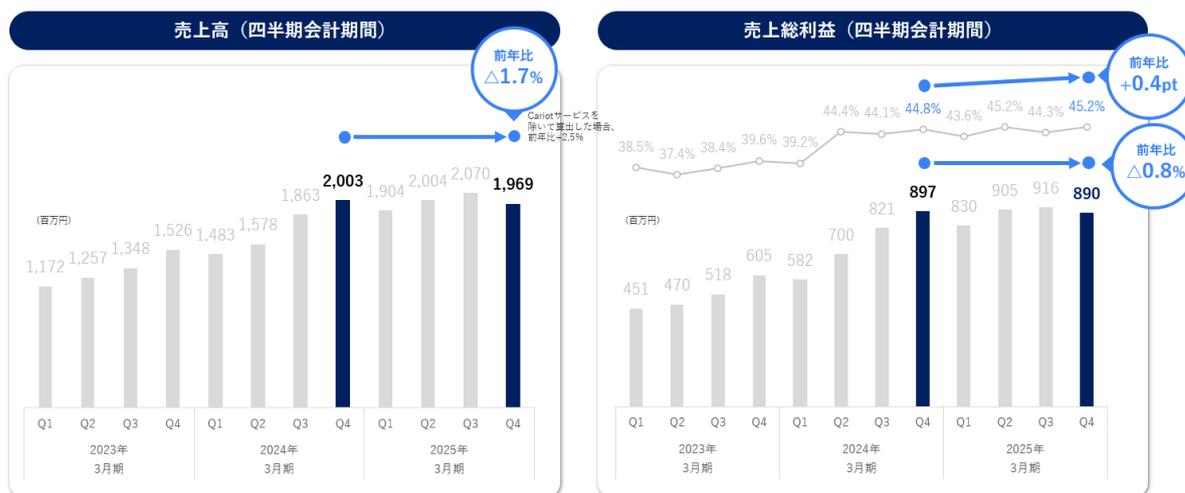
Q1. 当第4四半期会計期間の売上高成長率が△1.7%と減収になった背景の別途補足事項

A1. Cariot サービスの売上高が含まれなくなったこと (決算説明資料P. 6)

当第3四半期会計期間より Cariot サービスがソラコム社との合弁会社となり、当社が営む事業の範囲から外れ、Cariot サービスに関する売上高が含まれなくなりました。前年同期の Cariot サービスを除いた売上高(クラウドインテグレーションサービスのみの売上高)は1,920百万円となり、当該数値で売上高成長率を試算した場合、前年同期比で+2.5%となります。

(2025年3月期-第4四半期) 業績推移

売上高は1,969百万円(前年同期比△1.7%)となりました。獲得した顧客の取引拡大が想定よりも緩やかなことが背景となります。プロジェクト進捗は総じて健全な状況にあり、売上総利益率は45.2%(前年同期比+0.4pt)と高水準の利益率を維持しました。売上総利益額は890百万円(前年同期比△0.8%)となりました。



Q 2. 2026年3月期の業績予想の考え方について

A 2. 予定通り、2027年3月期にプライム上場を目指すため、利益基準の充足を企図（決算説明資料P.11）

2026年3月期においてもDX支援の需要は堅調に推移するものと想定しています。

一方で、当社においては、新規顧客の獲得数が堅調であるものの、その後の取引拡大ペースが緩やかになっております。今期より提案体制を強化しますが、下期以降の効果を見込んでいるため、従前目指していた売上高100億円以上の達成時期をやや後ろ倒しにして、持続的な成長を担保しながら達成が目指せる売上高を計画しました。なお、2027年3月期のプライム上場目標に変更はなく、直近2期の経常利益合計25億円の基準を充足する計画としております。

注力プロダクトの自律型AIエージェントAgentforceについては、今後の業績貢献へのポテンシャルは大きいと考えていますが、開始から期間が浅いため、現時点では具体的な数字で織り込みにくいことも背景となります。新たな注力領域としては、市場規模が大きく、クラウド化の進展により価値提供の拡大が期待できる公共領域の顧客獲得についても取り組んでまいります。

事業成長に向けて、旺盛な需要に応える開発体制の増強についても必要不可欠であるため、採用・教育費及び人員増加による人件費増等の積極的な人材投資を見込んでおります。なお、2025年4月の新卒入社（エンジニア職）は、理系院卒で42人となります。持続的成長に向けた提案体制強化の投資等を行いながらも、販管費の適正配分に努めることで、利益率を増加させる計画となります。

（2026年3月期-通期）業績予想

売上高は9,600百万円（前年同期比+20.8%）、売上総利益は4,243百万円（前年同期比+19.8%）、営業利益は1,429百万円（前年同期比+31.7%）、当期純利益は863百万円（前年同期比+19.8%）を見込み、プライム上場の利益基準充足を企図した利益計画としています。獲得した顧客の取引拡大を企図し、提案体制を強化しますが、下期以降の効果を見込むため、売上高100億円の達成時期をやや後ろ倒しました。注力の自律型AIエージェントAgentforceはポテンシャルは大きいと考えていますが、現時点では具体的な数字で織り込みにくいことも背景です。

	2025年3月期 通期 (4月-3月)	2026年3月期 通期（予） (4月-3月)	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	7,949	9,600	+1,651	+20.8%
売上総利益	3,542	4,243	+701	+19.8%
(%)	44.6%	44.2%	△0.4pt	-
販管費	2,457	2,814	+357	+14.5%
(%)	30.9%	29.3%	△1.6pt	-
営業利益	1,085	1,429	+343	+31.7%
(%)	13.7%	14.9%	+1.2pt	-
当期純利益	720	863	+142	+19.8%
(%)	9.1%	9.0%	△0.1pt	-

Q 3. 2026年3月期の営業利益の増益率 (+31.7%) に対して、当期純利益の増益率 (+19.8%) が低い背景

A 3. 2025年3月期は税制優遇の適用があったが、2026年3月期は税制優遇を織り込んでいないため (決算説明資料P. 11)

2025年3月期においては、賃上げ促進税制等の優遇適用により、53百万円の税額控除が発生し、法人税率が低下しました。賃上げ促進税制は、継続雇用者の給与等支給額が前年度比で一定以上増加となった場合に適用されるものです。2026年3月期においては、賞与の発生状況次第で本税制の優遇を適用できるか読み切れないため、その影響等を織り込んでいないことが背景となります。

(2026年3月期-通期) 業績予想

売上高は9,600百万円 (前年同期比+20.8%)、売上総利益は4,243百万円 (前年同期比+19.8%)、営業利益は1,429百万円 (前年同期比+31.7%)、当期純利益は863百万円 (前年同期比+19.8%) を見込み、プライム上場の利益基準充足を企図した利益計画としています。獲得した顧客の取引拡大を企図し、提案体制を強化しますが、下期以降の効果を見込むため、売上高100億円の達成時期をやや後ろ倒しました。注力の自律型AIエージェントAgentforceはポテンシャルは大きいと考えていますが、現時点では具体的な数字で織り込みにくいことも背景です。

	2025年3月期 通期 (4月-3月)	2026年3月期 通期 (予) (4月-3月)	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	7,949	9,600	+1,651	+20.8%
売上総利益	3,542	4,243	+701	+19.8%
(%)	44.6%	44.2%	△0.4pt	-
販管費	2,457	2,814	+357	+14.5%
(%)	30.9%	29.3%	△1.6pt	-
営業利益	1,085	1,429	+343	+31.7%
(%)	13.7%	14.9%	+1.2pt	-
当期純利益	720	863	+142	+19.8%
(%)	9.1%	9.0%	△0.1pt	-

以 上